

## 令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・1年間の授業での観点別の課題に取り組む活動を通して、基礎力、活用力・応用力が向上している。(第2学年)
- ・1年間の授業での観点別の課題に取り組む活動を通して、活用力・応用力(とくに表現力)が向上している。(第3学年)

#### (2) 課題

- ・全学年を通して、基礎に関する問題において、目標値と同程度ないしは上回っているが、さらに実力を伸ばし、大きく上回ることを目指す。
- ・全学年を通して、学んだことを根拠として、主体的に自分の考えをまとめたり説明したりする活動を通して、表現する力のさらなる伸長につなげる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率(経年比較) △目標値を上回る ≍目標値と同等 ▼目標値を下回る

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	全体 ≍ 基礎 ≍ 活用 ≍	/	/
第2学年	全体 ≍ 基礎 ≍ 活用 ≍	全体 ≍ 基礎 ≍ 活用 ≍	/
第3学年	全体 ≍ 基礎 ≍ 活用 ≍	全体 △ 基礎 △ 活用 △	全体 ≍ 基礎 ≍ 活用 ≍

#### (2) 分析(観点別)

第1学年	3観点のすべてにおいて、目標値と同程度であった。
第2学年	3観点のすべてにおいて、目標値と同程度であった。
第3学年	3観点のすべてにおいて、目標値と同程度であった。

#### (3) 分析(領域別)

第1学年	歴史的分野、特に江戸時代以降において身につけていない単元が見られた。
第2学年	歴史的分野・地理的分野において弱点がある。
第3学年	歴史的分野、特に明治時代以降において身につけていない単元が見られた。

### 3 授業改善のポイント

第1学年 授業内で観点別の課題や話し合い活動で、社会的事象を確認しながら、主体的に学習に取り組む態度を育む。授業の中では動画、写真などの視聴覚教材を活用することで、社会的事象への関心・意欲を高める。原因・結果の関係等を含めた時間の流れ（歴史）と、世界の地域区分や気候などの自然環境を含めた空間的な広がり（地理）を互いに関連付け合うことで「社会的な見方・考え方」を働かせるようにする。また、授業の中で文献、グラフ等の各種資料から必要な情報を適切に読み取る活動を通じて、知識・技能の向上を図る。そして理解したことを根拠として、自分の考えをまとめたり説明したりする探求活動を通して、表現する力のさらなる伸長につなげていく。

第2学年 授業内で観点別の課題に取り組み、グループでの協働的な学びにつなげることで、主体的に学習に取り組む態度の伸張を図る。授業の中では毎時、動画、写真、プレゼンテーションなどの視聴覚教材を活用することで、社会的事象への関心・意欲を高める。原因・結果の因果関係等を含めた時間の流れ（歴史）と、世界の諸地域と比較しながら日本の諸地域の特色や課題を含めた空間的な広がり（地理）を互いに関連付け合うことで、社会的な見方・考え方を働かせるようにする。また、授業の中で文献、グラフ等の各種資料から必要な情報を適切に読み取る活動を通じて、知識・技能のさらなる向上を図る。そして既習事項を根拠として、自分の考えをまとめたり説明したりする探求活動を通して、表現する力のさらなる伸長につなげていく。

第3学年 単元の導入で単元を貫いて考えるべき発問を設定し、学習の見通しを持たせるとともに、「なぜ学ぶのか」という目的意識の醸成を促す発問も設定し、主体的に学習に取り組む態度を育む。授業の中では動画、写真、パワーポイントなどの視聴覚教材を活用することで、社会的事象への関心・意欲を高める。原因・結果の関係等を含めた時間の流れと同時代における他地域の並行した時間の流れ（歴史）と既習事項の空間的な広がり（地理）、そして現代社会に関連する事項への理解（公民）を相互に関連付け合うことで、三分野を総合した社会的な見方・考え方を働かせるようにする。そして学んだことを根拠として、自分の考えをまとめたり説明したりする活動を通して、表現する力のさらなる伸長につなげていく。